

## 街路樹再生プログラム（第1期）の取組成果を公表し 街路樹再生プログラム（第2期）をスタートします

本市では、中心市街地の景観重要道路7路線を対象に、街路樹再生プログラム(第1期)を策定し、令和元年から街路樹の剪定方法等を見直し、緑のボリュームアップに取り組んできました。その取組成果を公表するとともに、「街路樹再生プログラム(第2期)」を策定し、取組を進めます。

### 1 街路樹再生プログラム(第1期)の主な取組成果

「街路樹再生プログラム」とは、まちなかの回遊性や魅力の向上を図り、歩いて楽しいまちづくりを進めるため、令和元年度から令和5年度までの間、中心市街地の7路線を対象に、街路樹が持つ本来の美しい樹形を取り戻し、季節の移ろいや憩いを感じられる良好な都市景観の形成に取り組んだプログラムです。

剪定方法や剪定時期を見直し、樹木を大きく育てた結果、美しい樹形が回復するとともに木陰が増加し、緑のボリュームアップを図ることができました。

#### 【桃太郎大通り】



#### 【ハレまち通り】



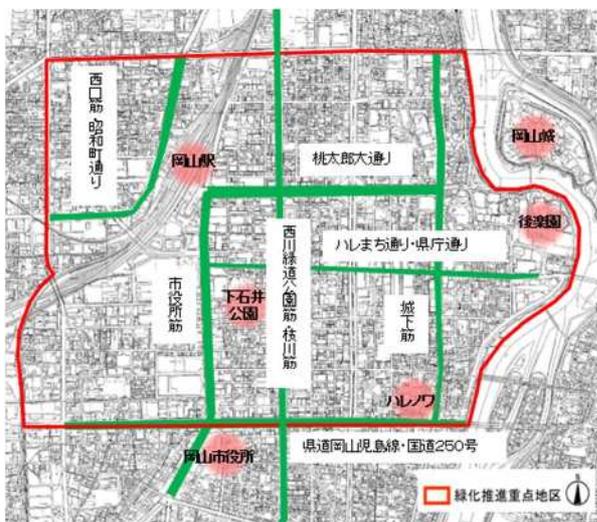
## 2 街路樹再生プログラム(第2期)等の新たな取組

第1期で取り組んだ中心市街地の7路線に加え、岡山市緑の基本計画で緑化推進重点地区に指定している西大寺駅周辺地区及び北長瀬駅周辺地区の8路線を合わせた計15路線を対象に令和6年度から令和10年度までの5ヶ年計画で街路樹の再生に取り組んでいきます。

また、取組成果を定量的に評価する指標として「緑視率」を導入し、街路樹再生の進捗を管理しながら、緑が多いと感じる目安とされる25%を目標に引き続き取り組みます。

さらに、市域の街路樹全路線を対象に「街路樹剪定マニュアル」を作成するとともに、管理状況を把握・記録するための「デジタル台帳」を整備することで、効率的・効果的な街路樹の管理に取り組み、地域の街並みにふさわしい街路樹へと再生を図ります。

### 【中心市街地】



【参考】「緑視率」とは、人の視界に占める緑の割合を表し、街路樹や生け垣、壁面緑化など、人々がまちなかで目にする緑量を示す指標の一つです。緑視率が25%を超えると、心理的な潤い感や安らぎ感を覚えるとされています。

緑視率(%)	基準値 R1	現在値 R6	目標値 R10
中心市街地7路線のうち1期で植替えた市役所筋ハシまち通りを除いた5路線の平均値	19.3	23.8	—
中心市街地全7路線の平均値	—	22.9	25.0

### 【西大寺駅周辺地区】



緑視率(%)	基準値 R6	目標値 R10	目標値 R16
西大寺地区全4路線の平均値	16.2	20.6	25.0

### 【北長瀬駅周辺地区】



緑視率(%)	基準値 R6	目標値 R10	目標値 R16
北長瀬地区全4路線の平均値	15.0	20.0	25.0

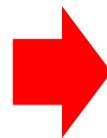
### 【問い合わせ先】

岡山市 庭園都市推進課 江川・平口 直通086-803-1392 内線3684

## 街路樹再生プログラム(第1期)の概要

- 計画期間 令和元年度から令和5年度まで
- 対象路線 中心市街地の景観重要道路7路線
- 目的 まちなかの回遊性や魅力の向上を図り、歩いて楽しいまちづくりを進めるため
- 取組と成果 樹木の植替えや剪定方法・時期を見直し、街路樹が持つ本来の美しい樹形を回復し「緑のボリュームアップ」を図ることができた

## 桃太郎大通り(同地点)



剪定方法や時期  
の見直し



・樹形の回復  
・緑量の増加



# 街路樹再生プログラム(第1期)の取組成果【R元～R5年度】

## ハレまち通り

1車線化工事にあわせて植替えを実施し  
歩きたくなる道路空間を創出



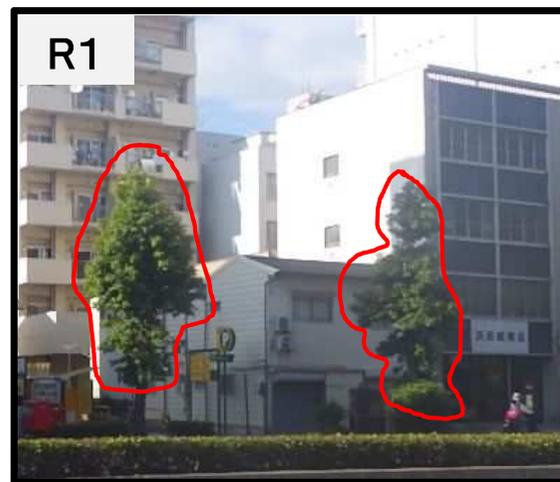
アヤケヤキ  
に植替え



樹形が美しく  
木陰ができる

## 県道岡山児島線・国道250号 (北区役所北側の東西通り)

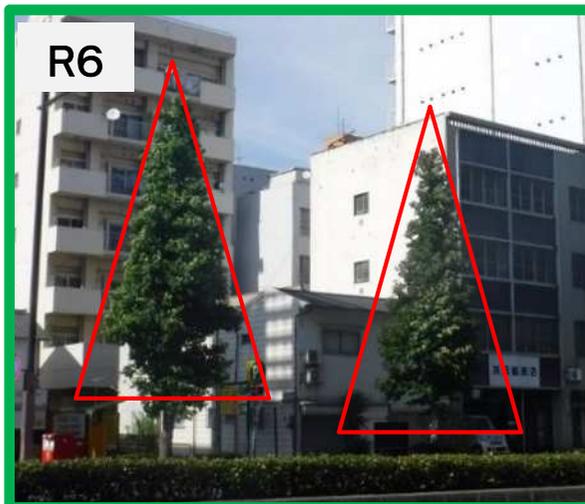
剪定方法を工夫し、樹形を整えた



コブの除去



樹形の整形



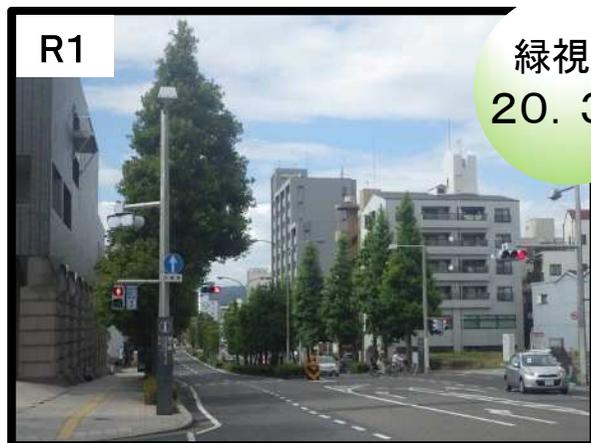
# 街路樹再生プログラム(第2期)【R6～R10年度】

## 街路樹再生プログラム(第2期)の概要

- 計画期間 令和6年度から令和10年度まで
- 対象路線
  - ・緑化推進重点地区の3地区の計15路線(第1期の取組を継続)
  - ・中心市街地地区の景観重要道路7路線(継続)
  - ・西大寺駅周辺地区の4路線(新規) ・北長瀬駅周辺地区の4路線(新規)
  - ・市域全ての街路樹路線(街路樹剪定マニュアルの作成)
- 目的 第1期の取組を面的に広げ、美しい都市景観を形成し、人々に安らぎをもたらすとともに、都市のイメージアップを図る
- 新たな取組
  - ・緑化推進重点地区の15路線を対象に、取組成果の客観的な指標として、「緑視率」を導入し、心理的な潤い感や安らぎ感の評価を定量的に行う
  - ・市域全ての路線を対象に、路線ごとの「街路樹剪定マニュアル」を作成し、街路樹再生に取り組む

「緑視率」とは・・・人の視界に占める緑の割合を表し、街路樹や生け垣、壁面緑化など、人々がまちなかで目にする緑量を示す指標の一つで、心理的效果を評価する際に用いられます。  
緑視率が25%を超えると、心理的な潤い感や安らぎ感を覚えるとされています。

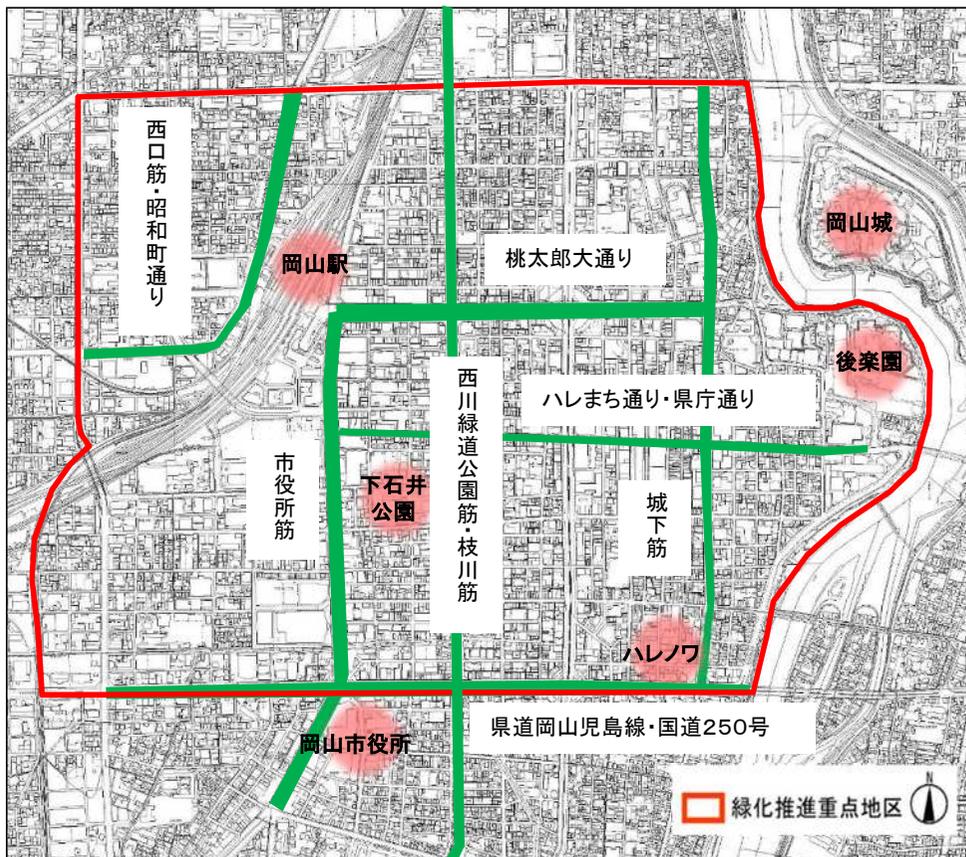
城下筋



※国土技術政策総合研究所開発の「AI緑視率調査プログラム」で解析



## ～中心市街地(7路線)～



緑視率(%)	基準値 R1	現在値 R6	目標値 R10
中心市街地7路線のうち 1期で植替えた市役所筋 ハレまち通りを除いた 5路線の平均値	19.3	23.8	—
中心市街地 全7路線の平均値	—	22.9	25.0



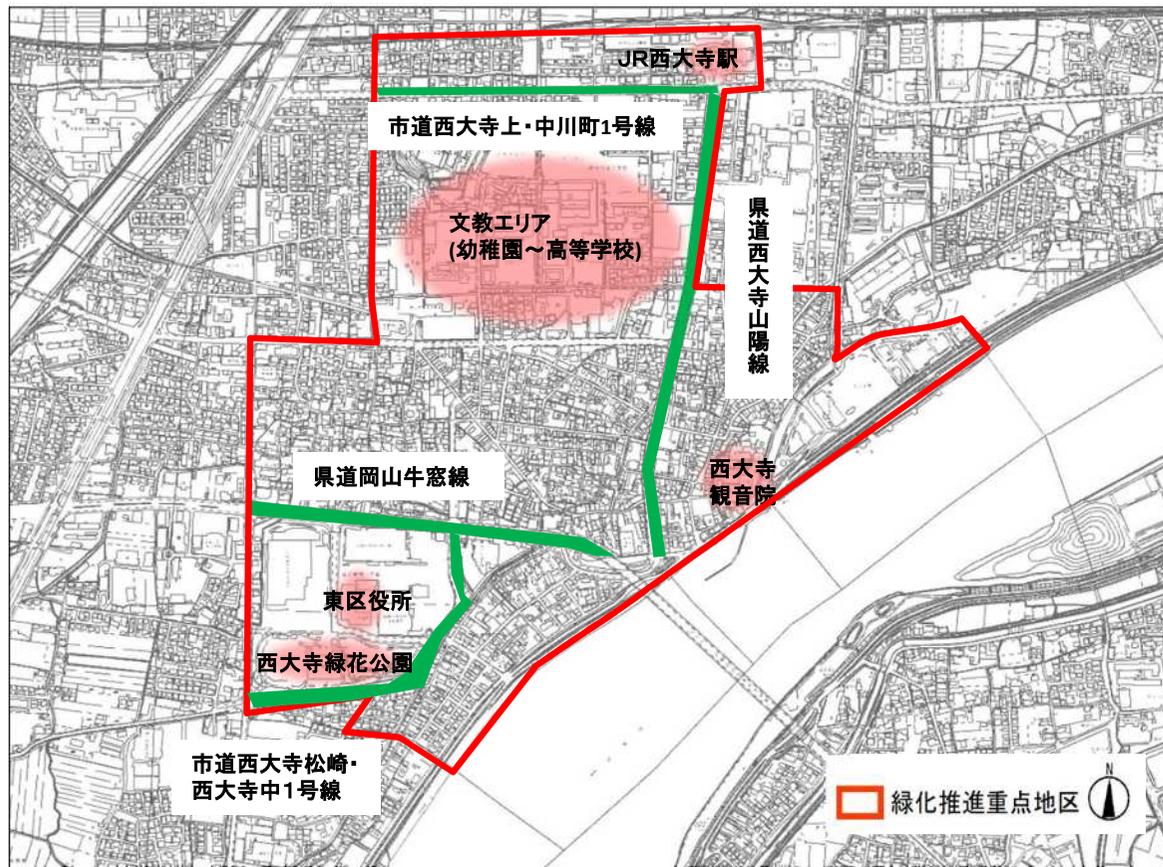
桃太郎大通り

画一的ではなく植樹間隔や樹冠にも配慮した上で、樹木の健全な成長を促しながら大きく育て、ボリュームアップを図る



# 街路樹再生プログラム(第2期)【R6～R10年度】

～西大寺駅周辺地区(4路線)～



市道西大寺上  
・中川町1号線

強剪定により  
ボリュームもなく  
樹形も悪化して  
いるため、剪定方法  
や時期を見直し  
ボリュームアップ  
を図る



県道西大寺  
山陽線

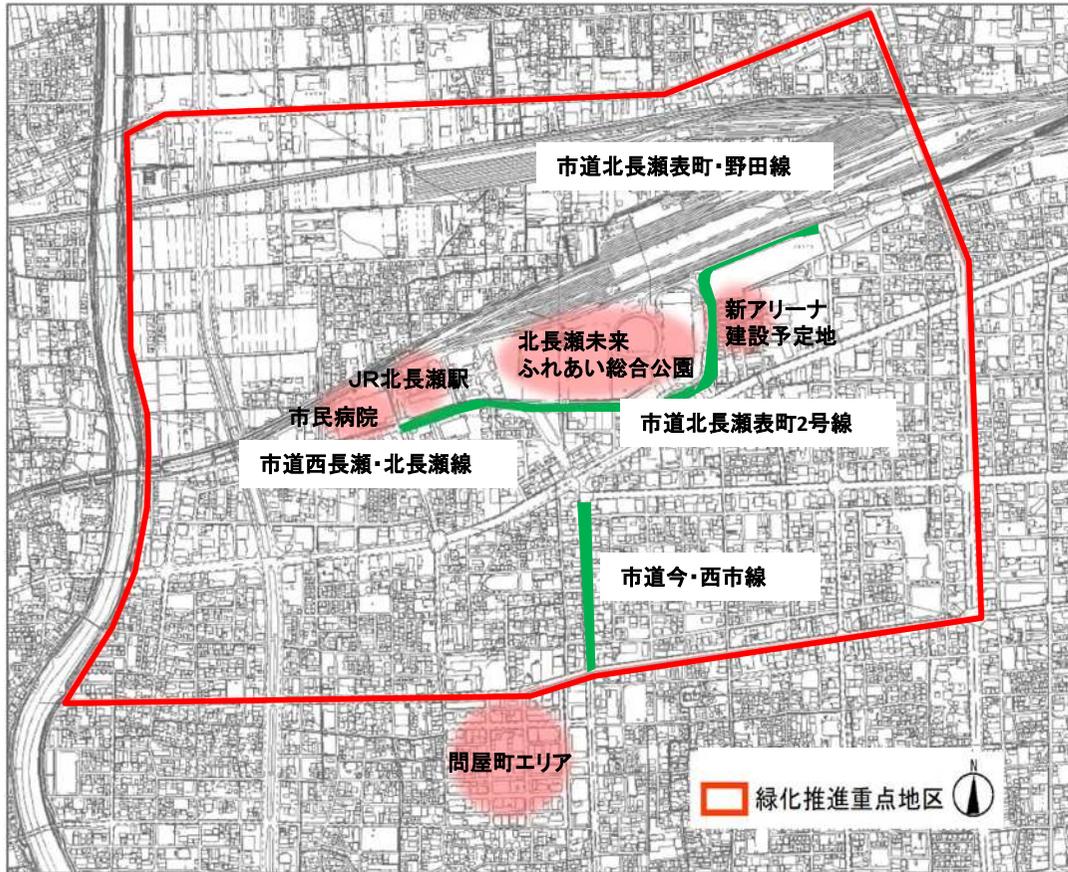
緑量が少ない上  
中央分離帯の樹木  
は生長が見られず  
樹勢も悪化している  
ため、補植も含めた  
ボリュームアップ  
を図る

緑視率(%)	基準値 R6	目標値 R10	目標値 R16
西大寺地区 全4路線 の平均値	16.2	20.6	25.0



# 街路樹再生プログラム(第2期)【R6～R10年度】

## ～北長瀬駅周辺地区(4路線)～



市道北長瀬表町  
・野田線

生長が遅く、樹勢も悪化しているため植替えも含めたボリュームアップを図る



市道今・西市線

強剪定によりボリュームもなく樹形も悪化しているため、剪定方法や時期を見直しボリュームアップを図る

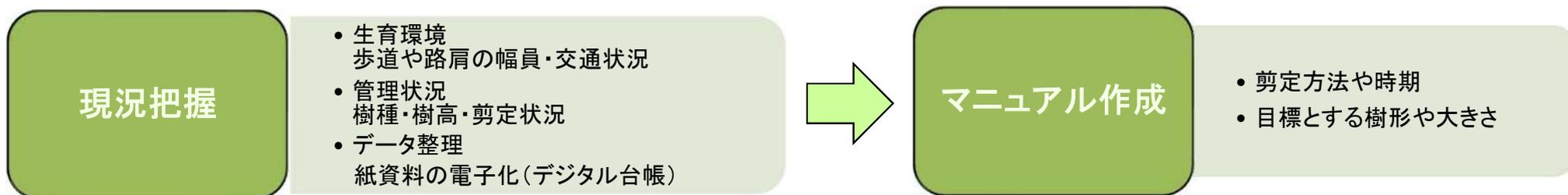
緑視率(%)	基準値 R6	目標値 R10	目標値 R16
北長瀬地区 全4路線 の平均値	15.0	20.0	25.0



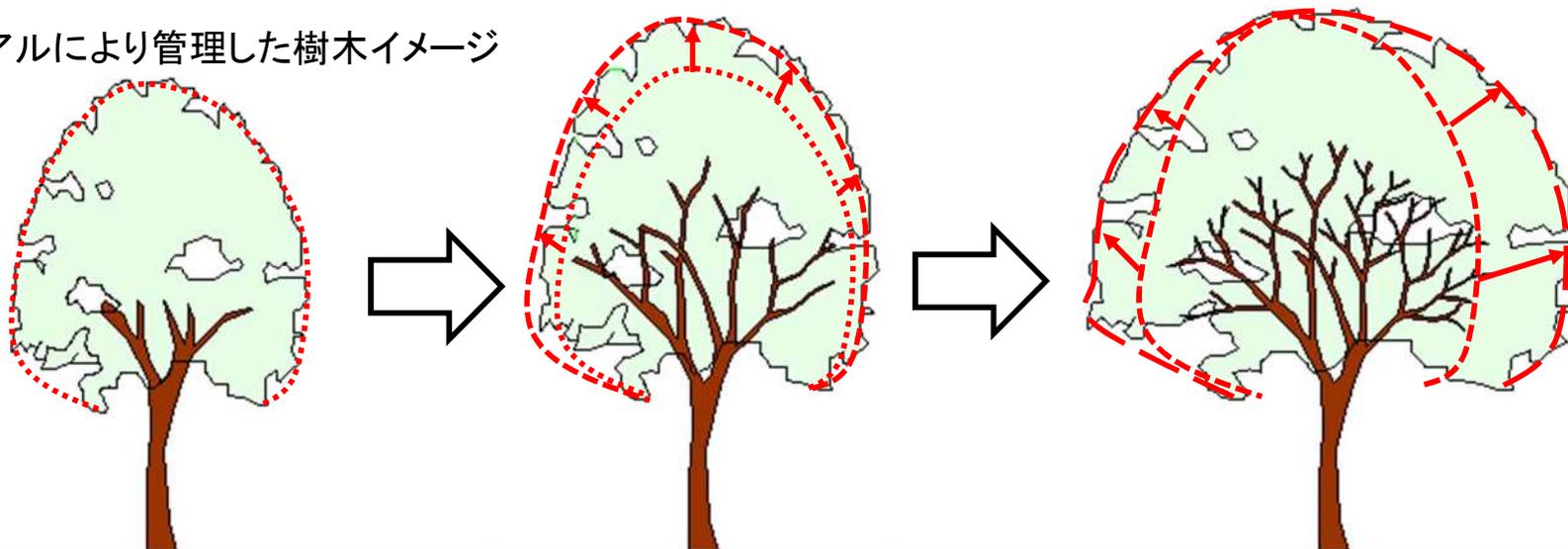
# 市域全体の街路樹の再生について

本市の街路樹は、現在「岡山市 街路樹・公園樹木管理指針」に基づき、管理を行うこととしているが、路線ごとの状況に応じた管理手法とはなっておらず、緑化推進重点地区の取組成果を市域全体に広げる必要がある。

市域の街路樹全路線を対象に、現況把握を行い、路線ごとの「街路樹剪定マニュアル」を作成し、効率的・効果的な街路樹の管理に取り組み、地域の街並みにふさわしい街路樹へと再生を図る。



マニュアルにより管理した樹木イメージ



現況

2~3年後の姿

目標とする姿

